

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和6年9月20日

枚方市立禁野小学校

文部科学省が今年4月に実施した、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、生徒の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の平均正答率(対全国)をお知らせします。

令和6年度 平均正答率 対全国比		国語	算数
禁野	小学校	保護者にはお知らせしています。	

<学力調査結果の概要>

○国語について

→ 正答率について、全国平均を大きく上回っています。

すべての問いの正答率について、全国平均を上回る結果となりました。また、無解答率についても、全国平均と比較し、かなり低いことから、意欲的に問題に向き合う姿勢が読み取れます。

一方、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題においては、正答率が全国平均を上回ってはいるものの課題が見られました。

○算数について

→ 正答率について、全国平均を大きく上回っています。

ほぼすべての問いの正答率について、全国平均を上回る結果となりました。特に、「思考・判断・表現」に関する問いでは、全国平均を大きく上回っています。

一方、理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題においては、正答率が全国平均を上回ってはいるものの課題が見られました。

国語科において成果や課題があった設問

【成果が見られた設問】

問題の概要

文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる

1 もやが
2 そして
3 葉は
4 まぶしく

4 まぶしく
3 葉は、かぞえきれないほどたくさんの小さなお日さままでできているように、きらきら、きらきらと、まぶしくかがやいています。

1 もやが、ひかりの雲にかわり、
2 そして、そのまんなかで、オニグモじいさんの

一 原さんは、「物語」の部「かがやいています」の部について、かがやいているのは何だろうと考えています。次の部「かがやいています」の主語として適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

正答:3

	正答率	無解答率
本校	85.7	0.0
全国	62.3	2.0

【課題が見られた設問】

問題の概要

学年別漢字配当表に示されてる漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる

ア きょうぎの作戦を考えたりします。

正答:競技

上級生が遠くからボールをイ なげる

正答:投げる

三 高山さんは、「高山さんの文章」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イを漢字で書いてねいに書きましょう。

	アの正答率	無解答率
本校	49.2	6.3
全国	43.4	13.2

国語科についての考察

文の中で述語に合う主語を選択する問題においては、正答率が全国平均を20ポイント以上も大きく上回っています。主語を「～は」「～が」などを手掛かりに形式的に判別するのではなく、文の構成を理解した上で、主語と述語との関係を捉えることができています。

一方、漢字を正しく書くことが求められる問題においては、イの「なげる」の正答率が88.9%であったのに対し、アの「きょうぎ」については、半数以下の正答率となりました。解答類型では「『競』と解答していないが、『技』と解答しているもの」が25.4%と高く、熟語としての漢字が正しく定着していないことがわかります。

今後は、タブレット端末を用いての文字入力が増えつつ主流となってくる中で、当該学年に配当されている漢字をその意味とともに正しく理解できるようにするとともに、日常生活の中でも習った漢字を積極的に使うよう指導していきます。

算数科において成果や課題があった設問

【成果が見られた設問】

問題の概要

示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうか判断できるかどうかをみる。

	正答率	無解答率
本校	69.8	6.3
全国	49.3	4.0

5

(4) こうたさんは、3月19日の卒業式の日までに、桜が開花してほしいと思っています。
桜がいつ開花するかわかりたいと思い、桜の開花予想日について調べたところ、下のような桜の開花予想日の求め方を見つけました。

桜の開花予想日の求め方

- ① 2月1日から、毎日の最高気温の数値をたしていく。
- ② 毎日の最高気温の数値をたした答えが、初めて600以上になったその日を桜の開花予想日とする。



今日は3月16日です。桜はまだ開花していません。

桜の開花予想日の求め方の①のように計算すると、3月15日までの最高気温の数値をたした答えは549でした。

3月16日からの最高気温の予報は、下の表のとおりです。

3月16日から3月19日までの最高気温の予報				
日にち	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
最高気温(度)	21	20	15	14

こうたさんは、3月16日以降は予報どおりの最高気温になるとして、桜の開花予想日の求め方を使って、桜の開花予想日を求めました。
桜の開花予想日について、次のようにまとめることができます。

最高気温の数値をたしていった答えが、初めて600以上になる式は、 $\square \textcircled{7}$ だから、
桜の開花予想日は3月 $\square \textcircled{1}$ 日です。

上の $\textcircled{7}$ に入る式を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の $\textcircled{1}$ に入る数を書きましょう。

- 1 $549 + 21$
- 2 $549 + 21 + 20$
- 3 $549 + 21 + 20 + 15$
- 4 $549 + 21 + 20 + 15 + 14$

正答:3

【課題が見られた設問】

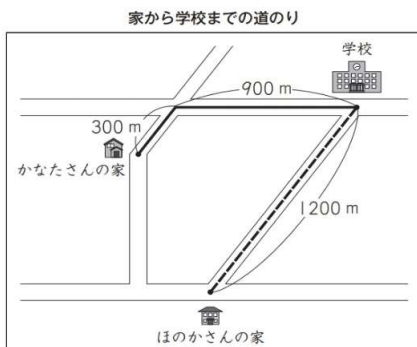
問題の概要

道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

	正答率	無解答率
本校	38.1	0.0
全国	31.0	2.4

4

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 かなたさん
- 2 ほのかさん

正答:1

正答例: 奏多さんの家から学校までの道のりは、 $900 + 300 = 1200$ で、1200mです。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、1200mで同じです。かかった時間は、かなたさんのほうが短いです。道のりが同じとき、時間が短いほど速さが速いので、奏多さんのほうが速いです。

算数科についての考察

5.(4)の正答率は7割に満たなかったものの、全国平均と比較すると、20ポイント以上も高い正答率でした。示された情報を基に、条件や情報を解釈し、数学的に表現する(式に表す)ことができている、「思考・判断・表現」の観点で優れているといえます。

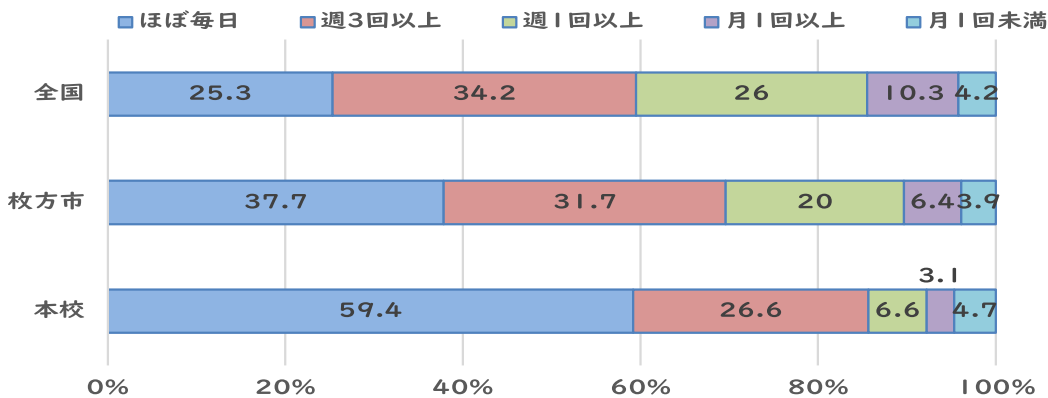
一方、4.(3)では、無解答率が0%であったことは評価できますが、道のりが等しい場合には時間が短いほど速さが速いということが記述されていない解答が多く見られました。速さなど単位量当たりの大きさについて考察する方法を工夫し、日常の事象の解決に活用、考えたことを言葉や式で表現する機会を設定していく必要があります。

質問紙調査の結果

※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

【成果が見られた項目】

5年生までに受けた授業で、パソコンやタブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



◆5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。

	本校	全国
1 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	98.4	85.5
2 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	95.3	92.1
3 楽しみながら学習を進めることができる	96.9	86.0
4 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよくわかる	96.9	89.8
5 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	98.5	79.2
6 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	96.9	86.1
7 友達と協力しながら学習を進めることができる	96.9	87.1

※数値は各質問の「とてもそう思う」「そう思う」と回答した割合の合計。

(考察)

本校における質問紙調査の中で、成果が見られた項目の一つにタブレットなどのICT機器に関するものがあります。

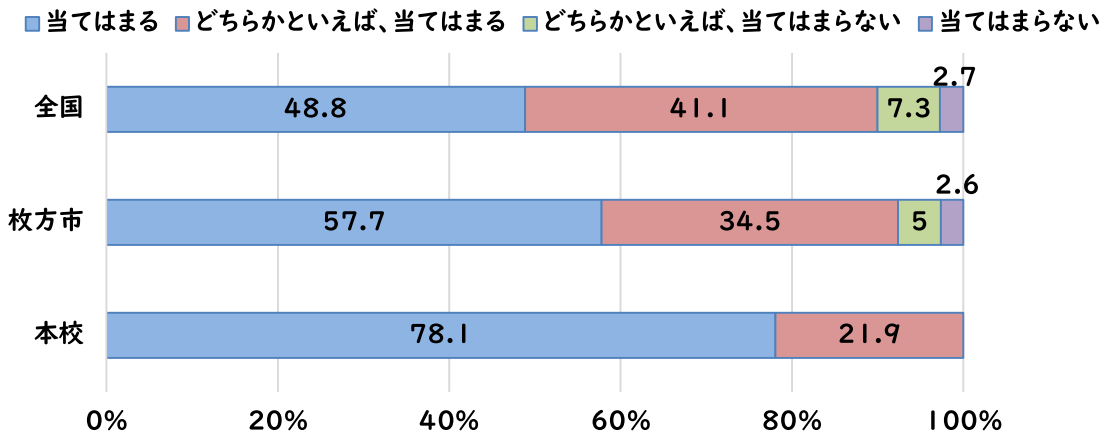
授業での使用状況については、「ほぼ毎日」と回答した児童の割合が全国の2倍以上となり、令和2年度から導入された一人一台タブレットが授業の中で有効に活用されていることがわかります。

また、ICT機器を活用することについての具体的な質問では、すべての項目について、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っています。これは、毎日の授業の中で、タブレットを学習道具の一つとして活用することを目的に日々模索しながらも継続的に取り入れた結果、児童自らが進んで効果的な活用を行うようになったためであると考えます。

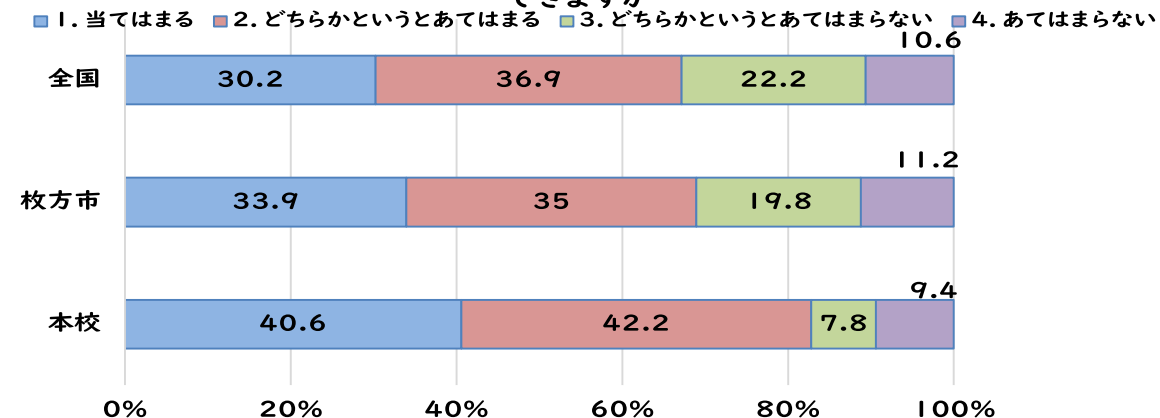
今後も、児童が楽しみながら学習に取り組み、個別最適で協働的な学びにつながるようICT機器の様々な機能を積極的に取り入れていきます。

【成果が見られた項目】

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談
できますか



(考察)

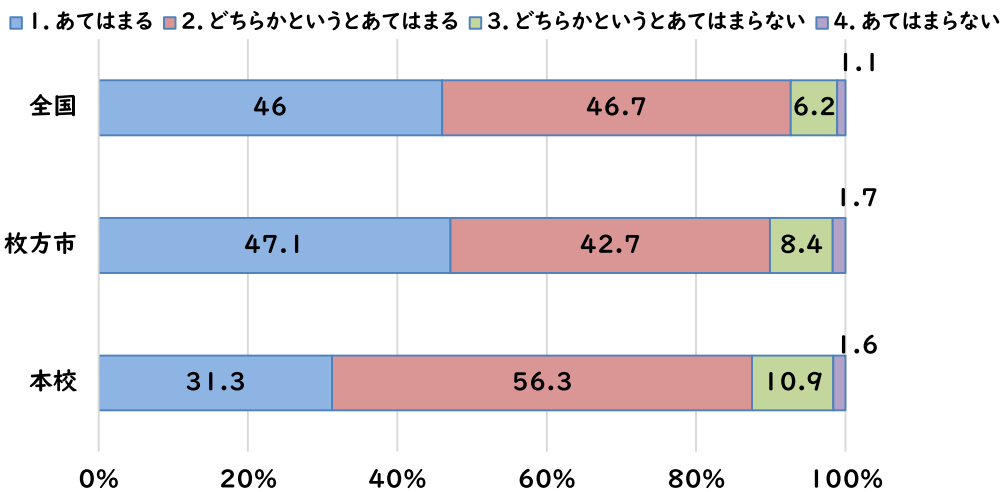
そのほか、成果が見られた項目として「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」や「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」など、教職員に関するものが挙げられます。

どちらも肯定的な回答割合が全国・枚方市の平均を大きく上回っており、児童が本校の教職員に対して信頼し、安心して学校生活を送ってくれている様子が伺えます。

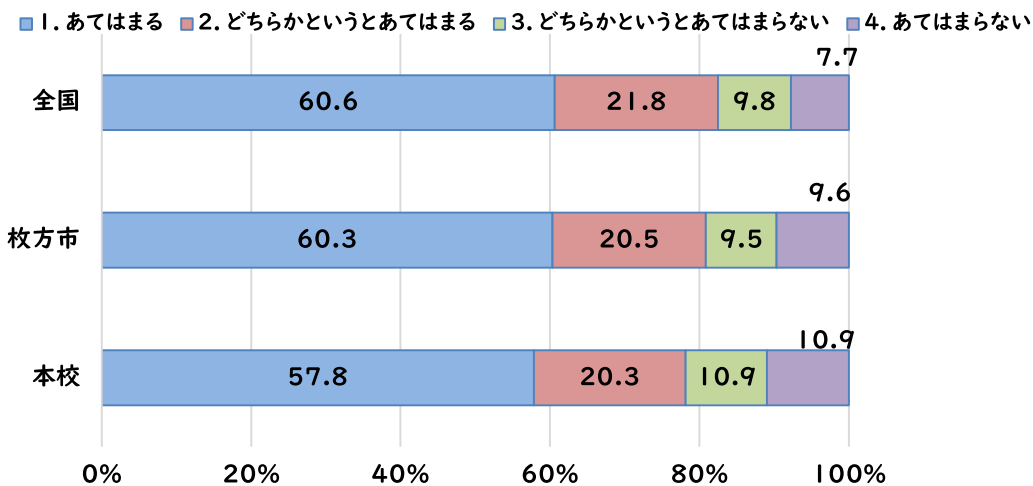
今後も、担任のみならず、全教職員が児童の頑張りをしっかり認めていくとともにまずは「聴く姿勢」を示しながら、一人一人を大切に育てていきます。

【課題が見られた設問】

人が困っているときは、進んで助けていますか



将来の夢や目標を持っていますか



(考察)

「人が困っているときは、進んで助けていますか」についての肯定的な回答割合が全国平均を下回っています。実際の児童の様子を見ていると、例えば、低学年の児童が登校中に転んで泣いている時など、高学年として優しく接している場面をよく見かけるので、数字と実態が合致していないという印象です。「進んで」という積極的な面が少し不足しているため、このような結果になったのではないかと考えます。

学習を進めるにあたって、一人で取り組むだけでなく、友達と助け合って課題を解決していく力が必要になります。協働して取り組む楽しさも味わえるような環境づくりに取り組んでいきます。

また、昨年に引き続き、「将来の夢や目標を持っていますか」についての肯定的な回答割合が低い結果となりました。日々の教科学習が将来に結びつくように、一つ一つの学習活動に目的をもって取り組めるよう支援していきます。

分析結果を踏まえて取り組んでいくこと

1. 日常生活と結びついた授業への改善

全国学力・学習状況調査の問題からみられるように、知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力がもとめられています。本校児童の調査結果からは、日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、目的に応じて大きさ（速さ）を比べたり表現したりすることに課題がみられました。また、熟語としての漢字が定着していないことがわかりました。これらの結果を受け、学習したことを日常生活で使っていくことができる力を身につけるために、授業の中で、問題場面の設定を工夫したり、数や式、言葉を用いながら説明する学習活動を充実させたりしていきます。

2. タブレットの効果的な活用

質問紙調査の結果から、本校の児童がタブレットを有効に活用していることがわかります。今後も、児童がタブレットを学習道具の一つとして活用しながら学ぶことができる授業づくりを進めていきながら、児童が言葉を正しく覚え、日常生活の中でも積極的に使うことについても指導をしていきます。

3. 協働的な授業の推進

質問紙調査の結果からは、自分から進んで人を助けているかという項目や将来の夢や目標をもっているかという項目に課題がみられました。お互いに困っているときは手を差し伸べることのできるあたたかい心を大切にしていくとともに、友だちと助け合って課題を解決する活動を取り入れ、協働して取り組む楽しさを味わえる経験ができる授業づくりを進めていきます。また、日々の学習活動が将来に結びつくように、一つ一つの学習活動に目的をもって取り組めるような授業づくりをしたり、児童が自分の良さに気づき、伸ばしていけるよう支援をしたりしていきます。

4.校内授業研究の充実

本校では、今年度の校内研究主題を「主体的に学び、伝えつながり合う子の育成～個別最適な学びと協働的な学びを通して～」とし、授業研究に取り組んでいます。

「主体的に学ぶ」では、児童が自分なりの学習のめあてをもって問いを見つける姿や、自分で学習方法（誰と・どのように学ぶか）を選択して学習することができる姿、自分の言葉で考えをまとめたり説明したりすることができる姿をめざします。その実現のために、児童と授業の中でその学習で身につけたい力や学習計画を共有し、児童が見通しや自分なりのめあてをもって学習に取り組める授業づくりや、児童が学習方法を自己選択できる活動を取り入れること、児童が他者と考えを交流したいと思えるような魅力的な活動の工夫を進めていきます。

「伝えつながり合う」では、児童が自分の意見を伝えたり友だちの意見を受けとめたりしながら、自分の考えを深めたり視野を広げたりすることができる姿をめざします。あたたかい心で聴く姿勢を大切にし、安心して自分の意見を伝えたり、友だちの意見を互いに認め合えたりできるような関係づくりをしていきます。

